

## 英語資格と留学・研修プログラムについて



組	番	名前
---	---	----

## 1. CEFRについて

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) は、2001年に欧州評議会が発表した、外国語運用能力を表す指標です。CEFR が示している6段階の共通参考レベルの記述は次のとおりです（文科省ホームページより）。

熟練した 言語使用者	<b>C2</b>	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	<b>C1</b>	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えるに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりと構成の、詳細な文章を作ることができる
自立した 言語使用者	<b>B2</b>	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について明確で詳細な文章を作ることができる。
	<b>B1</b>	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用者	<b>A2</b>	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	<b>A1</b>	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができます。

（出典）ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

立教英国学院の高校生は、本校で英語を活用した諸活動（授業、交流活動含む）を円滑に進めるために、可能な限り早急に B1 レベルに到達すべきで、卒業までに B2 レベル以上（表中枠線部分）の資格を修得することが望まれます。

2018年度卒業生（41期生）の場合、約45%がB2 レベルに、約93%がB1 レベルに到達しました。

## 2. CEFRに対応した英語資格

本校では、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定（＝日本の英検）、IELTS を受検する機会があります（次ページ表中枠線部分）。B2 レベル、B1 レベルに対応する英語資格は下記の通りです。

- ・ **B2 レベル**…ケンブリッジ英検 FCE (First Certificate in English) スコア 160 以上、  
英検準1級スコア 2300 以上、IELTS スコア 5.5 以上が該当します。
- ・ **B1 レベル**…ケンブリッジ英検 PET (Preliminary English Test) スコア 140 以上、  
英検2級スコア 1950 以上、IELTS スコア 4.0 以上が該当します。

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省 (平成30年3月)

CEFR	ケンブリッジ 英語�定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
<b>C2</b>	230 + 200 (230) (210) C2 Proficiency	各級CEFR 算出範囲	各試験CEFR 算出範囲	9.0 + 8.5				
<b>C1</b>	199 + 180 (190) C1 Advanced (180)	3299 + 2600 (3299) 2630 1級	1400 + 1350 (1400)	8.0 + 7.0	400 + 375	800	120 + 95	1990 + 1845
<b>B2</b>	179 + 160 (170) B1 Preliminary / for Schools B2 First / for Schools (160)	2599 + 2300 (2599) 2304 準1級	1349 + 1190 (1280) (2304)	6.5 + 5.5	374 + 309	795 + 600	94 + 72	1840 + 1560
<b>B1</b>	159 + 140 (150) B1 Preliminary / for Schools (140)	2299 + 1950 (2299) 1980 2級	1189 + 960 (1080) (1980)	5.0 + 4.0	308 + 225	595 + 420	71 + 42	1555 + 1150
<b>A2</b>	139 + 120 (120)	1949 + 1700 (1949) 1728 準2級	959 + 690 (840) Basic	224 + 135	415 + 235			1145 + 625
<b>A1</b>	119 + 100 (100)	1699 + 1400 (1699) 1456 3級	689 + 270 (270)					620 + 320

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

### 3. ケンブリッジ英検、実用英語技能検定、IELTS の受験機会

各資格試験は受験機会が限られているので、卒業までに目標レベルに達するよう、計画的に勉強していく必要があります。

	1年			2年			3年	
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期
ケンブリッジ英検	○	○	×	○	○	×	○	○
実用英語技能検定	△	○	○	△	○	○	△	○
IELTS	×	×	×	×	△	○	○	○

・ケンブリッジ英検…3学期は実施されません。また、EC（英会話）の授業の参加状況、プレテストの結果、合格可能性が低いと判断された場合、その学期中の受検は認められません。

・実用英語技能検定…1学期はハーフターム中に日程が重なると学校では実施されません。また、授業では取り扱わないと自身で参考書を購入し勉強していく必要があります。2次面接試験の練習は本校教員もサポートします。

・IELTS…試験内容がアカデミックなため、2年次後半から受検していきます。校内ではなく、近隣の大学が試験会場となっています。

#### 4. 英語の資格と様々な研修・交流プログラム、進路について

##### ①研修・交流プログラム

本校では、毎学期末の休暇前期間を利用して、英語力向上やイギリス体験を目的とした様々なプログラムを実施しています。プログラムによっては、高度な英語能力を要求されるため、参加にあたり資格条件を定めているものもあります。

プログラム	時期	内容	英語資格
ホームステイ	1学期（ハーフターム、学期末）、3学期末の年3回	地元の学校と関係のあるイギリス人の家庭に1週間滞在	不要
ケンブリッジ研修	1学期ハーフタームと毎学期末の年4回	ケンブリッジ大学内の研修施設で体験研修	不要
現地校短期留学	1、3学期末だが、相手校の受け入れ状況による	現地の学校にホームステイをしながら1週間通う	相手校によるが、基本的にB1レベル以上が望ましい
大学体験プログラム	1学期末	ケンブリッジ大学もしくはUCLロンドン大学で日英の高校生が集うワークショップに参加	B2レベル以上

※詳細は各プログラムの募集要項もしくは本校教員まで

##### ②進路

立教大学の推薦要件として、B1レベル以上（学部・コースによってはB2レベル以上）の英語資格が求められます（2019年度現在。今後変更される可能性あり）。また、B2レベル以上の資格（特にC1レベル以上）があると、各大学が実施する公募推薦、AO試験の受験資格を満たす可能性が非常に高まります。これらに使用する英語資格は、高等部3年1学期までに取得したものが対象となります。

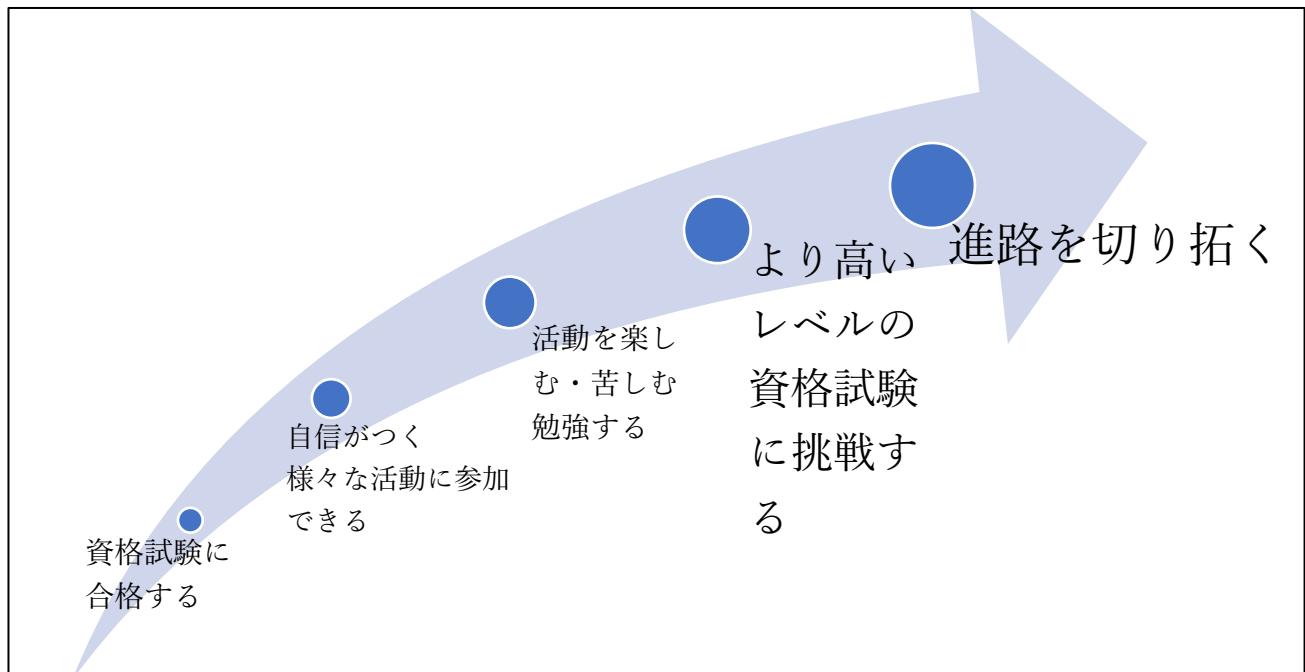
一方、一般試験においても、B2レベル以上の資格保持者は英語試験を免除されるなどの優遇措置をとる大学があります。

イギリスの大学への進学を目指す生徒は、ファンデーションコースに入学するために、少なくともIELTS5.5以上の英語資格が必要となります（大学、学部により異なります）。

## 5. 英語資格試験の勉強にあたって

### ①高いモチベーションは好循環につながる

資格取得は、本校での諸活動に関係するだけでなく、一人ひとりの「実力」と「自信」につながります。自信がつくとより積極的に活動に取り組める用になり、さらに高みを目指すようになるという好循環を生みます。モチベーションをもって資格試験に臨んでください。



### ②計画性が大事

各資格試験の受検機会は限られています。また過去のデータより、1つ上 (B1→B2、B2→C1など) の資格を得るために、通常約1年間の準備・挑戦期間を要すると言われています。そのため、3年1学期までにB2レベルに到達するためには、B1レベル（英検2級もしくはPET）をできる限り今年度中に取得するペースが望ましいと言えます。遅くとも来年度1学期に取得できるようにしてください。

## 6. 英語資格取得ロードマップの提出

これまでの内容を参考に、別紙「英語資格取得ロードマップ」を記入し、各担任まで提出してください。

また、本資料と、担任チェック後に返却された英語資格取得ロードマップは、各自の「eポートフォリオ」に保管してください。